allcinema

力と女の世の中（1933）

メディア 映画　アニメ
ジャンル
製作国　日本
色彩　B&W
初公開日 1933/04/13
公開情報 松竹キネマ

【解説】
　1920年代後半からの世界的なトーキー映画の隆盛を背景に、松竹が1932年に企画製作した、日本初の本格的なトーキーアニメ映画。同時に全面的にセルを使用した最初のアニメ作品でもある。
　身長・体重ともにボリューム豊かな奥さんを持つサラリーマンの主人。彼は4人の子供を抱えた家長だが、大の恐妻家だった。そんなある日、奥方は夫の寝言から、亭主が会社のタイピストと浮気しているらしいとの疑惑を抱く。真偽を確認しようと会社に乗り込んだ奥方は、主人とくだんのタイピストの仲良さそうな現場に遭遇。激情に駆られた二人の女は、夫の申し出を受けてボクシングで決着をつけることにするが……。
　当時の松竹社長で日本映画史に有名を残す城戸四郎が、気鋭のアニメ作家・政岡憲三に国産初のトーキーアニメの製作を依頼。内容は完全な大人向けで、出演声優も当時の松竹大スター（主人公の声優は古川緑波）を登用した。

【クレジット】
監督　政岡憲三
製作　城戸四郎
原作　池田忠雄
脚本　池田忠雄
撮影　木村角山
音楽指揮　今沢将矩
声の出演　古川緑波
　　沢蘭子
　　村島洋子
　　磯野秋雄
　　三井秀男
　　藤田房子
　　藤田陽子

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.